

柏崎刈羽原子力発電所 6 号及び 7 号炉 耐震関係審査の状況について

平成 28 年 2 月 9 日

東京電力株式会社

耐震設計方針（設計基準対象施設）（4 条）

指摘事項（2/3 ヒアリング時）	資料準備状況及び提出時期	備考
○解析モデルの評価手法，減衰許容限界について実績のない手法を使用していないか確認するため耐震設計の基本方針について，代表性，網羅性，既設工認との差異を整理して説明すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・先行審査（川内 1/2，高浜 3/4，伊方 3）の審査書や最終版の資料を元に，設置許可段階で，設置許可基準規則への適合性を示す内容については，2/3 のヒアリングで提出済。 ・建屋動解モデル^{※1} は，中越沖地震での知見を反映させる設計方針としており，この説明資料については，今後 1 週間程度で提出予定。 ・その他，既設工認との詳細な差異等については，工事計画の審査の段階で説明予定。 	
○耐震重要度分類下位クラスの施設が耐震重要施設へ与える波及的影響について詳細に説明すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・設置許可基準規則への適合性を示す，「耐震重要施設が下位クラス施設の波及的影響で安全機能を損なわない設計とする」という設計方針については，2/3 のヒアリングで提出済。 ・上記設計方針を受けた詳細設計の内容については，工事計画の審査の段階で説明予定。 	
○二方向水平力の影響評価方針を詳細に説明すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・設置許可基準規則への適合性を示す，「水平 2 方向及び鉛直方向の応答成分について適切に組み合わせるものとする」という設計方針については，2/3 のヒアリングで提出済。 ・耐震成立性を確認できる概略評価の説明資料については，今後 1 週間程度で提出予定。 ・その他の詳細な説明は，工事計画の審査の段階で説明予定。 	

※1 新潟県中越沖地震で得られた観測記録に基づくシミュレーション解析に基づいた建屋地震応答解析モデル。既工認で採用された建屋地震応答解析モデルよりも，観測記録の再現性が高い。

その他の主な審査項目

審査項目	資料準備状況及び提出時期	備考
○耐震設計方針（重大事故等対処設備）（39 条） （重大事故荷重と地震荷重の組み合わせ除く）	・伊方 3 号炉の最終版の資料と同等の資料を近日中に提出予定。	
○重大事故荷重と地震荷重の組み合わせ	・2/9 提出予定。	
○耐津波設計	・2/10 提出予定。	
○アクセスルート	・2/5 にヒアリングを実施。	

以上